

東日本大震災



宮城県石巻市被災地の状況(日台公園より)

3月11日(金)午後2時46分頃、三陸沖を震源とする、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生した。最大震度7を記録し、巨大津波を引き起こした。5月14日現在の発表によると、死者15,037人・行方不明者9,487人・避難生活を送っている116,591人となっている。

被災地では今も余震が続く中で被災者援助活動、福島第1原子力発電所事故の沈静化に向けた作業が懸命に続けられている。

東日本大震災復興の熊本県・市町村合同チームの一員として参加した職員の派遣後の感想を紹介する。



■派遣者…経済課
商工観光係長 上原真二

宮城県松島市 災害派遣報告

私は、4月16日(土)から4月22日(金)まで、熊本県チーム(第4陣)の一員として、支援活動を行ってきました。

活動内容は、住居建物の被災状況の証明書となる罹災証明書受付、仮設住宅申請受付、生活再建のための支援金として、最高300万円まで支払われる被災者生活再建支援金受付ならびに審査業務を行いました。

仮設住宅申請に、来られた人が、申

請に必要な罹災証明書が見つからない様子でしたので、私が封筒を預かって探すことになり、中には家族の死亡届の写しが5枚も入っていました。また、30歳前後の夫婦を案内した際、子ども2人を亡くしたので見舞金、義援金の申請にきたと淡々と話されました。そのほかに、家族が亡くなり、中学生くらいの子が親戚に連れられて訪れるケースもありました。時には涙が出るようになるので、事務を淡々と進めるしかなく、「頑張ってください。」が言えませんでした。また、声をかけてはいけないとさえ感じました。

被災地の現場に立つことができました。現場に着くと全員が黙ってしまっています。人の生活を打ち消し、何万人もの命を奪い去った津波の爪あとを目の前にす

礼の言葉が伝えられました。その中で、

「この東日本大震災を無駄にすることなく、皆様の市町村の教訓にしていただきたい。」そして、「東松島市は着実に復興に向け頑張っています。」と、力強い言葉を受け、業務を終了するこ

程度待つておられる状況でした。

熊本からの応援ということもあり、苦情などは少なく、逆に感謝されることが多いように感じました。

物資などは、ある程度行き届いているようですが、個別に大規模半壊で2階での生活をされている人が高齢者福祉サービス面で不満の声を聞くことがありました。

今回支援に行き、被災地を見る機会がありました。テレビなどの映像とはまったく違い、見渡す限り瓦礫が散乱している状況は言葉に表すことができないような状況でした。

今後、熊本県の支援は増員が予定されています。みんなでできることを考え、実行しながら一日でも早くの復興を願っています。

また、和木町においても、今回のような大規模な震災、津波などを想定し、

とができました。

最後に、派遣業務を終え、今後も引き続き東日本の復興に向け、人的支援や義援金など様々な形で支援をしていかなければならないと強く考えています。

災害が起きたときの初動体制、連絡体制などを再確認したいと考えます。

まとめ

今回の東日本大震災は、予想を上回った災害だったのではないだろうか。

私たちは、大きな被害を受けた被災者の皆さんを支えながら、一日も早い復興を目指していかなければならない。そのためにも義援金や義援物資だけでなく、電力の無駄をなくしていかなければならない。

東北では、複数の発電所が停止し今もなお電力不足に陥っている。これから、夏場を迎えるにあたり扇風機やエアコンの利用による更なる電力不足が予想される。和木町においても、こまめに電機を消したり天気の良い日は節電をしたりと、今やれる努力をしていかなければならない。和木町でもいつこのような大規模災害が発生するかわかりません。東日本大震災を無駄にすることなく、防災に対する意識を高めていかなければならない。

～東日本大震災義援金～ 6,287,802円

役場窓口をはじめ、町公民館、町民体育館などに設置していました募金箱には、多くの被災者義援金が寄せられました。そのほか、各種団体からも多額の義援金をお預かりしました。

お預かりした義援金の総額は4月末現在、6,287,802円に上っております。

この義援金は、和木町町民一同として日本赤十字社を通じて、全額、被災者救済のための救援活動および復興支援活動等資金として送金いたしました。

町民皆さまの暖かいご支援、ご協力に厚く感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興と被災者の皆様に笑顔が戻りますことを祈念いたします。

なお、役場本庁、三加和総合支所におきましては引き続き募金箱を設置し、義援金を受け付けております。



■派遣者…健康福祉課
福祉係長 大山和説

宮城県東松島市 災害派遣報告

私は、4月21日(木)から27日(水)まで熊本県チーム(第5陣)の一員として支援活動を行ってきました。

被災状況は、道路の亀裂などが多く、地震のすごさが見えてきました。市役所に近くなると、津波の被災状況が見え、農地の真ん中に壊れた車が点在していたり、瓦礫が散乱している状況でした。

東松島市役所では主に、「被災者生活再建支援」の受付業務を行いました。対象世帯は、大規模半壊以上の建物の所有者です。申請者は毎日平均600人から700人来庁され1時間